

1年5組担任の廣瀬愛先生に好きな本を2冊教えていただきました。

〈1冊目〉

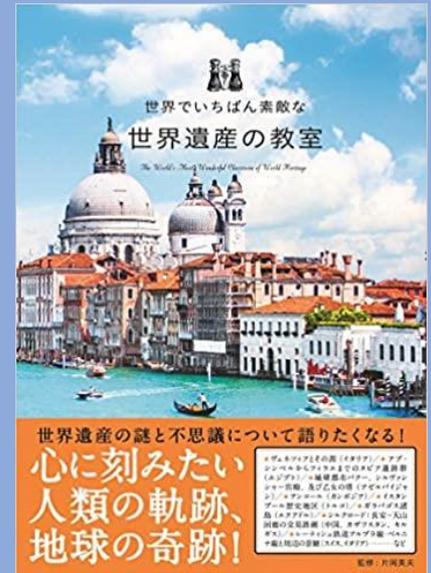
Q1 先生のお気に入りの本を教えてください。

『世界でいちばん素敵な世界遺産の教室』
片岡英夫（監修・世界遺産検定マイスター）

Q2 その本を選んだ理由は何ですか。

表紙のベネチア（イタリア）の写真が目につき、世界遺産に興味があったからです。

“世界でいちばん素敵な教室”というシリーズものの一つです。世界の美しい自然遺産と文化遺産について、すてきな写真とともに遺産に登録された理由などの説明が書かれています。その地の歴史や地理を知らなくてもわかるような説明になっているので、“読む”というよりは“見る”感覚で、本を開いてみてください。



〈2冊目〉

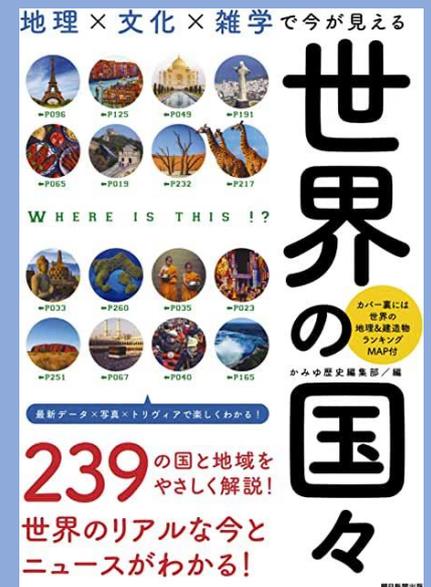
Q1 先生のお気に入りの本を教えてください。

地理×文化×雑学で今が見える『世界の国々』
かみゆ歴史編集部（編集）

Q2 その本を選んだ理由は何ですか。

日北の生徒たちにもっと世界を知ってもらいたいと思い、購入しました。

239の国と地域について、人口・面積などの基本情報や観光名所の写真、大まかな歴史が書かれています。学校の授業では扱われることの少ないアフリカや南米、オセアニアの国々なども雑学を織り交ぜながら知ることができます。また、「石油埋蔵量が多い国ランキング」や「建築物の高さランキング」など、ランキング形式で世界をみることもできます。



日立北の生徒に一言お願いします。

世界を知るといことは、日本の良さを知ることでもあります。

「外国にはあまり興味が無い」という人も、日本の良さを再確認する目的で、これらの本を開いてみてください。

また、日本と世界の“違い”を知ることは、

多様な文化や考え方もつ人と共生する社会の実現に繋がると思います。

日本人同士でも、全く同じ人なんていませんよね？

育った環境や関わってきた人が違えば、その人自身の考え方も違うのは当然です。

そういった“違い”を受け入れるために他人を知ろうとするように、

世界のことをもっと知ってください。

<読書の秋にオススメの本>

こんにちは、図書委員会です。
今回は読書の秋にオススメの本を2冊紹介します。

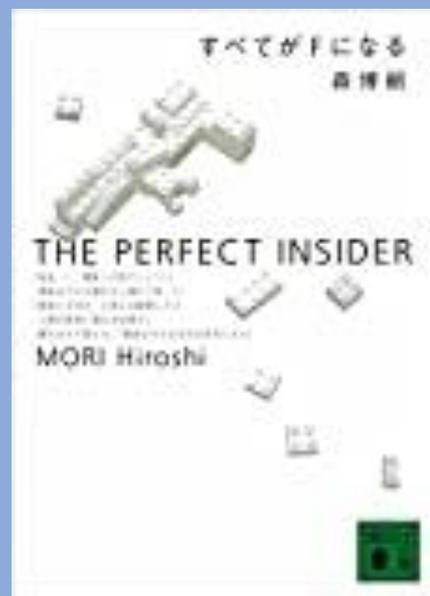
読書の秋にオススメの本1冊目は、森博嗣さんの
すべてがFになるです。

この本の面白いところは、いわゆる天才の登場人物が多い
というところですよ。

この本では、所々で天才同士の会話が繰り広げられること
があります。その会話は深すぎて内容を理解するのに時間が
かかることが多々ありますが、人生で一度は言ってみたくな
るようなとてもかっこいいものです。

横の表紙では見づらいと思いますが、ここでもひとつ、か
っこいい会話が繰り広げられています。

どこかの本屋に行くことがあれば、良ければ探して表紙だ
けでも読んでみて下さい。



読書の秋にオススメの本2冊目は、知念実希人さんの
優しい死神の飼い方です。

この本をはじめて知った方はどんな印象を受けるでしょ
うか。

表紙の可愛さや優しいという言葉からホワホワした印象
を受けるでしょうか。それとも、表紙の白衣を着ている女
性や死神という言葉から少し怖い印象を受けるでしょ
うか。

僕は、この2つの印象はどちらも正しいと思います。な
ぜなら、この本はハートフルミステリーというジャンルだ
からです。怖いとまではいかなくとも何か心に刺さるもの
があります。

この本には、小説としての面白さだけでなく、優しさや
人間らしさについて考えさせる力があります。

この図書だよりをきっかけにこの本に興味を湧いた方
は、良ければ探してみてください。

